

# 早春の剣岳北方稜線・「毛勝山」へ行く

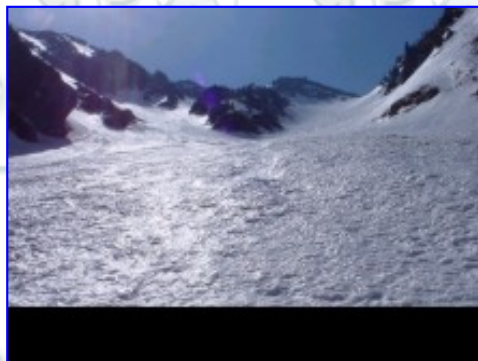
2002年春山情報9号です。 4 / 20

今回は特別招待写真による春山情報です。

左・・・勤務先より「毛勝山」、毎朝拜んで出勤するのが日課になっている。  
中・・・阿部木谷最終堰堤。連年5月中旬に顔を見せる巨大な1枚岩・・・  
右・・・板菱の出会い付近では、早くも巨大なクレパスが口をあけている。今年は慎重に・・・



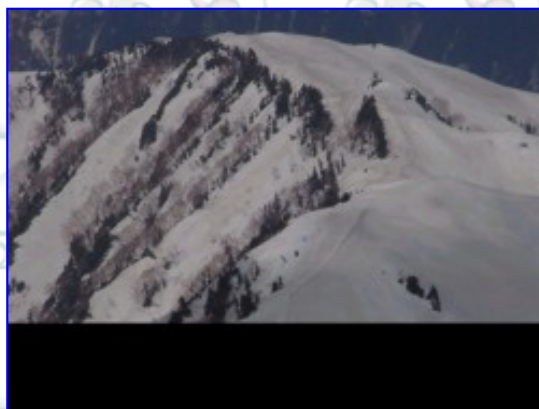
左・・・高みを目指して、ひたすら「忍」の一字。すでに太陽は高く、容赦なく照りつける。もがき苦しむうちのカミさん。この直後両足が痙攣を・・・  
中・・・ポーサマ谷中間部より鞍部を見上げる。一面の銀世界で、5月のあの薄汚れた残雪期と見違えるほど美しく輝いて見える。・・・落石とブロック雪崩が1度もなく順調に高度を稼ぐ。  
右・・・鞍部、直下まできた。・・・やはり斜面は堅く慎重に登攀した方がよさそうだ。  
この直後・・・猛烈にガスがかかり視界ゼロに・・・



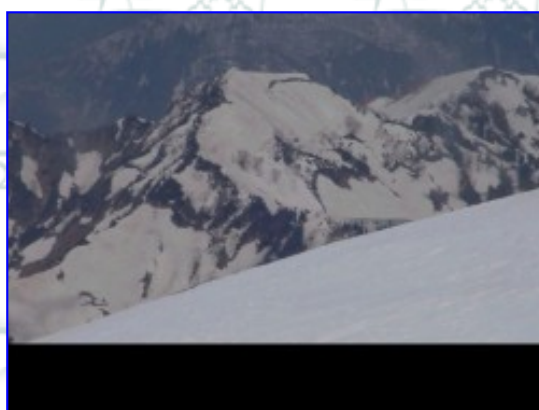
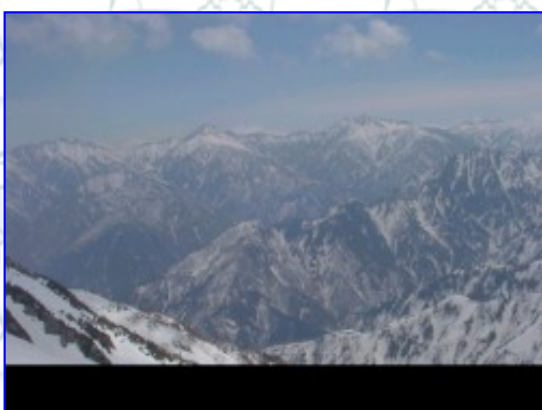
左・・・京都の山スキー四人組が後方から追ってきた。夜中に到着、仮眠しての登頂。  
右・・・まるで氷河を思わせるような「純白の世界」、あまりの放射冷却で、早朝は危険さえ感じる。



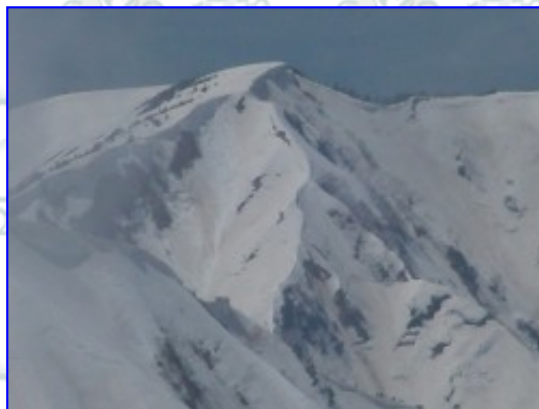
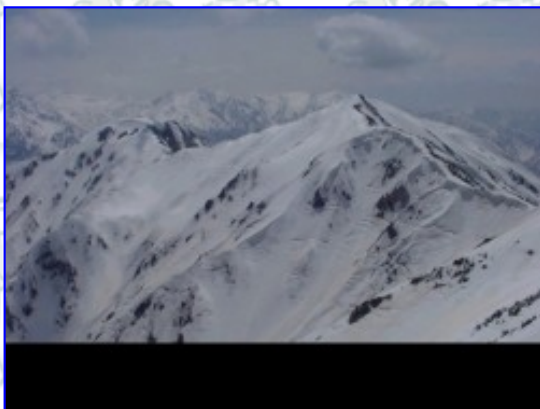
左・・・ここまでくれば、鞍部に出たようなもの。若干傾斜も緩みファイトが出てきた。  
振り返るとカミさんと京都のスキー隊がおおよそ300m下に見える・・・  
右・・・山頂から見下ろす平坑乗越。GWには我々はここで集中合宿を行う予定。  
例年に比べると、やはり雪が少なく感じる。



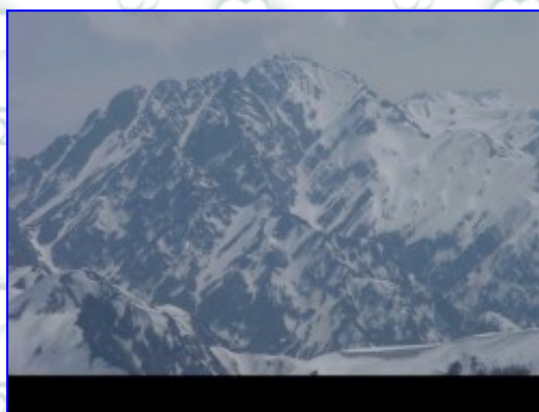
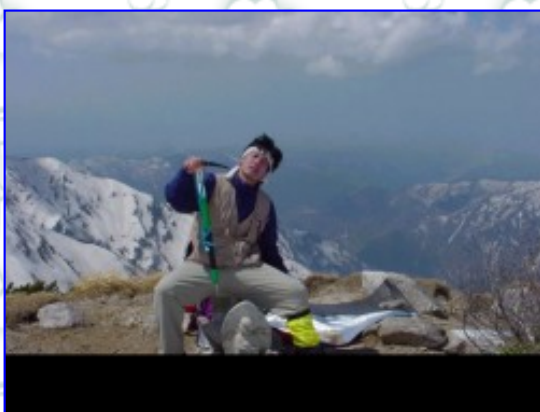
左・・・突然広がる、壮大な後立山連峰の景観。・・・唐松岳・五竜岳・鹿島槍ヶ岳が広がる。  
右・・・



左・・・剣岳北方稜線「毛勝三山」の最高峰の「釜谷山」と「猫又山」を望む。  
しかし、稜線の雪は5月中旬並の少なさで今年の「毛勝三山の春山」は短そうである。  
右・・・急峻で優雅な大明神山4月なのに、昨年5月に幕営したところと状況と一緒に見える。  
どこから入山しても難易度が高いのは変わらない山である。



左・・・でしゃばりな主人公。日本海をバックにパチッ。  
しかし、間抜けなポーズで、右足のスパッツが・・・山頂のお地藏さん周辺も雪がありません。  
右・・・王者・「剣岳」においてもっとも恐れられている「池ノ谷斜面」シシの頭からスパッと切れているのが特徴。。。ここから見ても吸い込まれそうだ。



4 / 20 今回は、立山アルペンルート開通のために、行けなかった、剣岳北方稜線「毛勝山」へ情報を提供していただきましたので、早速2002年春山情報9号として、掲載しました。  
以下、「浜守秀一」氏の情報です。